

樹々の葉を透かして
きらめく光はさまざまに
みんな個性のまちづくり



まちづくり情報誌

発行部数 10,000部!
発行日 4月・7月・10月・1月

ねりま
まちづくりのひろば

第31号

平成19(2007)年10月

季刊 秋号

発行 (財)練馬区都市整備公社
練馬まちづくりセンター
〒176-8501
練馬区豊玉北6-12-1
TEL 3993-8011(代)
3993-5451(直通)
FAX 3993-8070
E-mail: machi@nerimachi.jp
http://nerimachi.jp/

アドレスが
変わりました!

こまれひ

特集

ネリマにもこんなにあるよ! 楽しいまちづくり発見



校庭にトンボがけをするように、芝刈り機を使って芝の高さを整えます。

まちづくり活動を巡ってみませんか?
普段の生活をもっと楽しくする種が練馬にはたくさんあります!
近くの小学校、家の前の道、公園、ちょっとした緑・・・「課題」を「楽しみ」に変える活動に参加してみませんか?今回は区民の方が創りあげている魅力的な活動をご紹介します。「面白そう」と感じたらまちづくりセンターに問い合わせてくださいね

中村小学校グリーンキーパーズ ひろーい芝生でおもいきり遊べる校庭

寝転びたいような校庭に広がる緑のじゅうたん。「子ども達にやさしく人と接する心が生まれ育ちます。この芝生を地域の憩いの場所に使いたい」と芝生の維持管理を担うグリーンキーパーズの名川さん。この日(8月25日)、中村小学校校庭の芝生で、ストラックアウト大会(数メートル先の番号めがけて野球ボールを投げます!)が行われました。もちろんその後は、使った芝生をみんなでお手入れ。子ども達は遊んでいる校庭がどんな芝生でできているのを知り、実際に芝刈り機、空気入れ、フォーク等を使って手入れを行いました。

(機械では届かないところ)を行っています。広い校庭を手入れするのは大変で、まだまだ人手が必要です。また、芝刈り機などのメンテナンス用の道具も含め、手間もかかれば、お金もかかるというのが現状です。それでも、ここで遊んでいる子ども達は「転んでも痛くない」、「自由に走り回れる」、「裸足で遊べる」と芝生がお気に入りの様子。地域の人は「草埃がなくなった」との声も。そして、なんと「芝生の上は涼しい!」
「より多くの人に芝生の良さを感じてもらいたい。そして、芝生を使ったら必ず後で手入れをする、というサイクルを作り、芝の状態をキープできたら・・・また、芝生の開放とその手入れを通して、近所の人との交流が生まれ、子ども達が安心して遊ぶことができる空間を作りたいですね。」そんな夢の手始めに行うイベント、みなさんも実際に芝生の良さを体感しにいらしてみませんか?
ホームページ: <http://www.shibafu.jp/ngk/>



中心メンバーは、少年野球チームのウィンズや、ソフトボールチームのナイスガイなど、中村小に通う子どもとその保護者です。

お手入れ万全の芝生! まちの憩いの場所に

現在、グリーンキーパーズは、水曜日に芝生の手入れ、日曜日の早朝に芝刈り、雑草とり、水遣り



土に十分な空気を与え、コケや雑草を抜き、芝生が元気になるような環境を整えました。

未来こどもランド

出前遊び場!
9月9日のよく晴れた日曜日の午後、三原台公園に子ども達の遊び道具を寄せ、未来こどもランドがやってきました!武蔵大学の環境サークルの学生がリーダーです。「はい、みんな集まってねー!」子ども達は公園の広場を利用して、絵の具を使ってペイントしたり、ヨーヨー釣りや「だるまさんが転んだ」などを遊びました。最後には、遊んでくれたお兄さんお姉さんにお礼を言います。「ありがとうございました!」と大きな声で感謝の挨拶です。

子育ての楽しみも悩みも共有しませんか?

未来こどもランドは、お父さん、お母さんのためにもやっています。スタッフのなかには現役の保育士もいるため、育

児相談の場になり、また、他の子どもの親との交流の場にもなります。「こうしてみんなが集まる機会は無かったので、やってくれてうれしいです。これをきっかけにもっと広がっていくのでは」と参加者も満足そうでした。そして「最近はずいぶん子育てが楽になりました。地域とのコミュニケーションも希薄になっています。そんな中、このように子育て中の親が出会う場を作ることで、親同士が子育ての悩みや楽しみを共有していけるといいですね」と理事長の相澤さん。その日には、どんな未来が映っているのでしょうか。

次回は「むくのき公園」に登場

これからは毎月出勤、次回10月14日には「むくのき公園」まで出張します。今回子どもたちがイベントした絵は、乳児が遊ぶシート周りの柵として使われます。こどもランドをみかけたら、きっと親子で楽しい時間を過ごせるでしょう。今後は遊びだけでなく、エコロジーやマナーの話も学べる活動を始めていく予定です。
ホームページ: <http://www.mirai-kodomo.org/>



これが未来こどもランドです!



みんなあともだち!

練馬チアリーダーズ
みんなの大切なみどりや環境の応援もします。
テーマは「元気・勇気・みどり・スマイル」!!

なじみの会
「練馬 都市化計画(その1)」
絵本制作のための原稿づくり
をしています

放射35号線対策 地域協議会

この大きな模型は?!

今年5月に行われたまちづくり交流会「練馬まちづくりのわ(わ)メッセ」で、見事「ベストwメッセ」に輝いた「放射35号線対策地域協議会」のみなさん。今回はそのwメッセ会場で注目の的となった大型模型について、代表の高田さんとメンバーの久保田さんにお話を伺いました。



【計画されている道路の模型】1mは1cmになっています

平和台駅周辺の早宮2丁目から北町5丁目にかけては、平成16年12月に事業認可された都市計画道路放射35号線の建設計画があり、現在、用地取得が進められています。この道路計画に関して、地元のいくつかの団体がまちの将来に向けての協議やまちづくり活動を行っており、この地域協議会はその中の一つです。



左下の写真は、平和台駅前の道路を5.0m幅にするという計画を元に、「図面だけではイメージがしづらい」と自分達で作った模型です。「駅の階段の高さを測ったり、タイルの大きさと枚数から距離を求めたり...大変でした。」と高田さん。計画が実現すると、5.0m幅よりも広い交差点が駅前にできるそう。ともに活動をしてきた久保田さんも「道路ができれば、商店街に行くのも一苦労。まちが分断されるのでは」と感じました。そうした思いからいろいろと調べていくうちに、いくつかの課題を発見。そこで具体的な改善策について議論するために、模型が作られたのです。
「この模型のおかげで、計画を知らなかった人たちが関心を持ってくださるようになりました。地元住民が行動することで、そのまちに合った計画になっていくのではないのでしょうか」課題をプラスの力に・・・そんなパワーを感じます。

春日町駅周辺街づくりの会

古くから住んでいる人へのヒアリングをして、春日町まちづくりの空想を小学校副読本と資料館にまとめています

水辺からみえる自然環境調査

内容●白子川清流から八の釜側の森まで川に沿って歩き、水辺の良さを学びます。湧水体験や簡単な水質調査も行う予定です。
日時●10月6日(土)午前9時45分～午後2時
集合●9時45分(雨天決行)
大泉学園駅前北口前
申込み先●松岡 080-5472-1521
自然環境ねりまらび

石神井川探検隊

川の中をジャブジャブ歩くことで、川の実態を調査して感銘作り、まちの人に石神井川をみてもらいます

白子川清流まつり(1000人の賑わい)

内容●川を愛する人の川祭り/湧水の白子川清流を立体的に紹介/小学生の「白子川学習」の発表/清流近くで発展した縄文遺跡の資料展示・火起こし体験/メダカプレゼント
日時●10月14日(日)正午～午後3時30分
場所●大泉井頭公園内
問合せ先●吉沢 3923-8430

光が丘の30秒CMを創ろう!

内容●光が丘の美しい写真と好きな音楽でCMづくりを体験しませんか?(高校生対象)
2月に光が丘CMコンテスト開催予定です
日時●11月10日(土)、11日(日)
場所●東京工芸大学(神奈川県厚木市)
問合せ先●古山
Email: furuwama_meko@yahoo.co.jp
光が丘まちづくりフォーラム



まっぴす

緑道を生かした道づくりを

上石神井駅周辺地域のまちづくりをメインテーマとして活動を行っている「まっぴす」。今回はその手始めとして、千川通り拡張にとりま、千川上水緑道(立野橋-伊勢橋間)の西側部分がなくなってしまうことについて、「どうにか千川通りの道と歴史ある千川上水緑道が一体化した心地よい道の整備ができないか?」...そこに地域の記憶を残そうと活動しています。

頼もしい専門家たち!!

「設計図面を見られても、実際どう変わるかなってイメージできないです」そんなとき頼りになるのが、まっぴすのメンバーの中の建築家や都市計画の専門家など力強い人たち。毎月第一土曜日に集まって話し合いをしています。今回は「野草の会」の方を先生として、千川上水緑道の緑の調査をしました。緑道に武蔵野の面影を残して虫や蝶を呼び込もうという案がでた際、ここにはどんな植物が遺っているか等の専門知識を持つ人たちのネットワークがあることを実感します。

千川プロムナード構想に向けて

10月には地元の方々に呼びかけて、専門家を交えて千川緑道を巡りながら千川通りとの一体整備について話し合います。「まっぴすは、地元および行政と協働してまちづくりに取り組みたいと考えています。緑道の自然を生かし、周辺地域の未来のまちづくりにつながる提案ができることは、とても魅力的です。」と代表の久村さんは語っています。

千川上水緑道...これからどうなる?

内容●千川通りの拡張事業区間(立野橋-伊勢橋)と隣接する緑道を専門家とともに歩き、緑道の魅力や課題を学び、話し合います
日時●10月27日(土)午後2時～5時頃
場所●上石神井体育館前(集合)
問合せ先●久村(ヒサムラ) 3929-7204



まっぴす

今回紹介している団体は...

●まちづくり活動助成決定団体
「まちづくり活動助成」は「ずっと住み続けたい...」そんなまちを実現するための区民の方が主体的に行う活動を練馬まちづくりセンターが助成金により支援するものです。今年7月29日(日)に企画コンテストが行われ、13団体の助成が決定しました。
▶活動の中間報告会(3冊を参照)

●「練馬まちづくりのWAメッセ」出展団体
練馬のまちづくりの「和」「輪」「わ〜!」から名づけられたまちづくり団体の交流会です。5月26・27日、区立労働福祉会館にまちづくり活動のパネルが並びました。

●出展団体 東京建築士会練馬支部環境部会 武蔵園・環境を守る会、武蔵園建築協定運営委員会 特定非営利活動法人 匠リニューアール技術支援協会 木の香る家プロジェクト ねりま・ごみフォーラム ねりまエコ・ネット まっぴす
都市計画道路放射35号線対策地域協議会

お知らせ 光が丘地区祭に出展します!

「光が丘地区祭」にWAメッセ準備委員会とまちづくりセンターが共同で出展します。ぜひお越しください!
日時●10月20日(土)午前10時～午後5時
21日(日)午前10時～午後4時
会場●光が丘区センター・光の広場・ふれあいの径